

第5回 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第5回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会
日 時	平成26年7月30日（水）午後2時～4時5分
場 所	高円寺中学校 多目的室
出 席 者	協議会委員24名（欠席5名）
傍 聴 者	4名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 前回懇談会における視察について 2 目指す学校像について 3 新しい学校づくりに向けての各校教員の意見について 4 その他
資 料	<p>資料1 高円寺地域が目指す新しい学校像について</p> <p>資料2 第3回懇談会グループディスカッション各班発表</p>

会長	<p>皆さん、こんにちは。本日は大変暑い中、高円寺中学校までおいでいただきまして、本当にありがとうございます。</p> <p>第5回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を開催します。</p> <p>まず、ご欠席の委員さんですが、西山委員、石井委員、星野委員、茂呂委員より欠席という連絡をいただいております。まだ若干お見えでない方もいらっしゃいますが、時間になりましたので始めさせていただきます。</p> <p>また、本日、傍聴希望者でございますが、4名の方がおりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>では、続いて、配付資料の確認をさせていただきます。事前に事務局からお送りしていると思えますけれども、確認させていただきます。</p> <p>（配付資料の確認）</p> <p>では、次第1でございます。前回の懇談会では、渋谷区立渋谷本町学園に視察に行きました。本日、事前に送られた資料の中にも視察当日の質疑応答も入っておりますが、渋谷本町学園におかれては様々な工夫がされておまして、施設一体型小中一貫教育校として既に教育が始まっており、様々な面で自分自身は非常に参考になったなという印象でございます。</p> <p>今日はせっかくこの間の視察から日を余り開けないで懇談会を開催していますので、視察でお感じになられたことを皆様方から最初に伺いたいと考えています。</p> <p>次第2で、これまでの懇談会における意見や視察の感想を踏まえて、目指す学校像に向けて具体的に議論を進めていただければと思っています。ですので、渋谷本町学園のこういう点がよかったとか、参考にしたいとか、反面、この高円寺のまちにはこういう学校があってもいいんじゃないかというようなところも含めて、具体的な感想でも構わないんですけども、お考えを聞かせていただければと思います。</p>
----	---

	<p>よろしく願いいたします。</p> <p>まず、ご意見があるという方からお手を挙げていただけますでしょうか。</p> <p>(挙手なし)</p> <p>ないようであれば、一通り聞きたいと思っています。実際に行かれていない委員の方もいらっしゃるのでは、その方は「行っていません」でもいいですし、以前にご覧になったことがある方は、その時の感想でも構わないと思うんですけども、では、こちらからお願いできますでしょうか。</p>
委員	<p>大変参考になりました。高円寺においてどういうメリットが取り入れられるかはこれからの問題だと思うんですけども、うらやましい学校づくりで、他区からも寄留されて集まるぐらいの学校だということで、いろいろ考えさせられることができました。</p>
委員	<p>一番感じていたことは、問題点の指摘、課題として抱えていることのお話がなかったような印象です。それだけ順調すぎるというのが信じがたい気もします。ですから、本当のところはどうだったのか。管理職ではなくて、一般の大勢の先生たちから生の声を伺いたかった。それが高円寺につくる学校の課題を発見することであり、解決へのあらかじめの準備も可能であろうかなと思いました。</p> <p>課題こそ発見すべきものではないか。この場合は、これから見据えていく望ましい学校、どういう学校をつくりたいというビジョンをつくり上げていくための大事なところだと思っております。渋谷では、縦を高くとって、立派にできています。そのようなことがこの立地条件で可能なかどうか。現実には見通せないというのが私自身の感想です。</p> <p>ですから、むしろ我々はああいうできすぎているぐらいの学校を見てしまったので、むしろ高円寺に特有のことを知るという意識が特に必要ではないのかなという、そんな感想を逆に抱きました。</p>
委員	<p>何しろ環境ですね。まず、環七と比べて、住宅地の中にある学校というのはああいう学校なのかなと思いました。まず、校門に入って、すぐ子ども達が出てきて、よく挨拶をしていました。</p> <p>人工芝というのもああいうものかなと思って、人工芝は入ったことがなかったんですけども、ちょっと暑いなという感じはしました。</p> <p>それから、地下1階がプールで、地下2、3階と避難所的な施設もできているので、ああいうのはよかったなと思っています。</p> <p>それから、児童・生徒数も渋谷では増えているということで、それはいいことだなと思っていますけれども、今、他の委員も言われたように、本音はどうかなのかなと気にもなりました。</p>
委員	<p>本当にあそこの学校の生徒の挨拶は、にこにこしていて、すごく素晴らしいんです。あと、学校の説明もみんないいことばかりで、デメリットのところは1つも聞きませんでしたし、また、見ませんでした。授業中も、児童・生徒自身、個人個人が上手にやっています、これは素晴らしい学校だなという印象でした。休憩時間も子どもが一生懸命活発に遊んでいる姿をよく見ました。中学生は余り遊ばないというのは、勉強のせいもあるんじゃないかと思います。小学生は非常に活発に遊んでいて、これはいい運動だなということが印象にありました。以上です。</p>
委員	<p>やはり新しくできた学校ということで、きれいだなというのはもちろん思いました。ただ、やはり学校に木々が少なかったり、花がなかったりということがち</p>

	<p>よっと気になりました。ツタを絡ませてこれから緑になっていくという話は聞いたんですけども、やはり杉並区は特に緑が多いので、そういう環境で児童・生徒を育てていけたらなと思いました。</p> <p>いろいろ工夫もされていたんですけども、一番思ったのは、ちょうど昼休みに行きましたが、余り中学生が出ていなかったのも、中学生なりに遠慮をしているのかなとか考えてしまいました。昼休みの時間の過ごし方とか、やっぱり考えていなくてはいけないのかなと思いました。</p> <p>あと、視察に行くことで、これがいいな、あれがいいなというのではなくて、ここで新しい学校をつくるためには何が一番いいのかということで、余り視察の影響を受けないようにしたいなと思いました。以上です。</p>
委員	<p>視察は欠席をさせていただいたんですけども、前々回の懇談会の中で、分科会形式でテーマを絞って、それぞれの考えを出し合ってまとめることができたのはすごくよかったかなと思います。それぞれ皆さんどうしているかということで、細かく話し合いができてよかったです。</p> <p>それと、渋谷本町学園の学校要覧を見させていただいた中で、何が違うかといったら、やっぱり教員の数が大分違って来るかなとは思いました。小学校だけ、中学校だけという教員の人数よりも、一緒になって沢山の人数で子ども達のことを見られる。それと、地域の目でもあわせて沢山の目で見られるというのはすごくいいことではないかなと思いますので、その辺は期待していきたいと思います。以上です。</p>
委員	<p>今回は2回目の視察になりました。以前は開校したばかりの確か6月ぐらいの時期でしたので、学校も真新しい雰囲気、先生方もまだ試行錯誤の状態、コンピュータルームもまだパソコンが袋から出ていないような状態でした。</p> <p>今回行って見て、学校として大分落ち着きが出てきたなと思いました。校長先生のご説明もすごく簡潔で、とてもわかりやすくよかったんですけども、質疑応答の中で、中学校の進学が、小学校を卒業した子の5割が私立か他の学校に進学してしまっているのが課題だとおっしゃっていました。それは高円寺にも当てはまることかなと思いますので、いかに魅力ある中学校をつくるかで、そこに進学したいと思う小学生も増えていくのだろうと思います。</p> <p>あと、施設面としては、地下があるがために人工地盤になっていて、それゆえに高い木が育てられないとおっしゃっていました。ですので、どうしても緑があふれている杉並の学校から見ると、ちょっと何か寂しいような、無機質に感じたんです。やはり学校舎の中になるべく木を取り入れようという工夫がされているなと思いました。床もフローリングになっていましたし、廊下のほうもフローリングになっていて、教室の扉も木になっていました。あと黒板の後ろのほうのボードとかも全部木のボードを使っていたので、少しでもそういうところで自然感を出したいのかなというのは感じました。</p> <p>他の委員も言っていましたけれども、渋谷は渋谷なりです。ただ、学年ごとの学級数を見越して教室をつくっていたにもかかわらず、やはり35人学級ができたりということで、ランチルームが早くも普通教室に変更する工事に入るとおっしゃっていました。すごい短いスパンで世の中が変わっているのも、これから何年か先、ここを建てようと思うことにどれだけ私たちは対応していけるのかなという心配もあります。なので、やはりいろいろ融通がきくような、カチッと決めてしまうと、そこから逆にまた首を絞めてしまうような校舎になってしまっても困るんだなとは思</p>

	<p>ました。やはりこれからいかに高円寺に合う学校をつくっていくかというのはとても大変なことだと思いますし、皆さんで知恵を出し合いながら何かいい学校をつくれたらなと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>私も2回目の見学で、以前もすごく感じたことなんですけれども、今回行ってまた一段と強く感じたのは、今皆さんおっしゃっている、校地ぎりぎりいっぱい校舎やら校庭をつくっているがために、緑が異様に少なく、この高円寺中学校にしても、杉四、杉八にしても、緑あふれる校地をずっと毎日目の当たりにしていると、すごく違和感を感じました。その分、今おっしゃっていましたが、教室のところに必要以上に木目をふんだんに使っているという印象を受けました。ですから、何となく外から見る限りは住宅地には非常にそぐわないような、何か無機質な学校だなと印象を受けました。我々がこれから計画するのであれば、もっともっと杉並らしい、本当に緑あふれる学校にしていきたいなと思います。</p> <p>もう一つ感じたのは、ちょうど昼休みの時間に行ったので、子どもたちが中から外に飛び出してくる時間帯で、ふっと感じるのは、校庭に出て遊ぶ子どもが余りにも少ないという印象を受けました。あれだけの生徒数がいたら、校庭が埋まってしまうくらい子どもたちが外に出て、走り回る姿を正直言って想像していたんですが、それにしても余りにも少なく、中に入ってみると、校舎内に子どもたちがいっぱいいる。何かちょっと我々がいつも接している学校の姿とは違うような気がします。杉四にしても、杉八にしても、1, 2時間目の休み時間でも、ちょっとした5分、10分でも外へ出て走り回るのが児童のような気がするんですが、何かその辺はちょっと違和感を覚えたのが1つの印象です。</p> <p>それと、先ほどから出ている人工芝の問題なんですけれども、もしも人工芝の上で運動会をやるのだとすると、結局、人工芝の上は飲み物ですとか、食べ物とか、そういったものにすごく制限があると思います。飲み物は真水以外はだめということになりますし、あそこにご父兄が入られたりするのに、飲み物も真水以外は持ってこないで、本当に運動会等をされているのかなというのがちょっと疑問に思うところです。</p> <p>部活を第2グラウンドのほうでやっているということで、第2グラウンドまでの距離が約300メートル。300メートル離れたグラウンドまで部活に行くというのは、正直なところ、それでいいのかなと思いますね。第2グラウンドとしたら、100メートル以内になれば、いろいろ安全面を考えてもちょっと遠いのではないかなと。たまたま立地的にそこしかなかったのか、もともとある小学校がそこだったのでそれを利用したと。校舎をつぶしてグラウンドにしたということ。ただ、それはもう少し配慮があってもいいのかなと思います。</p> <p>こちらもそうなんですけれども、これからは電力ということを考えると、渋谷本町学園はソーラーをつけていまして、どれだけ発電して、どう稼働しているかのディスプレイが入ってすぐ左側の壁のところについていました。今回見て思ったのは、確かに発電をしています。ただ、ほとんど全部が蛍光灯で、ものすごく電力を照明で食っています。あれを今からでもLEDに交換することによって、使用電力量をものすごく下げられると思いますし、そういう方向に進むのが今我々日本国民の務めかなと思います。</p> <p>あと最後に、イベント等は地下3階の大体育室で行われているようなんですが、我々がいった大きな入り口のほかに非常階段が避難通路として2つありました。そ</p>

	<p>の幅は、廊下よりちょっと狭いぐらいの非常に狭い通路のように思えました。地下3階から迷路のようにあそこに大勢の方が入られて、何かあったときにその避難通路で本当に済むのかなと考えたところがあります。</p> <p>もう少しきちっとメインの入り口を、エントランスにしても真っすぐ出られるわけじゃなくて、何度も何度もコーナーを曲がって外に出るといった形になっているので、ちょっと不安を感じるころがありました。以上でございます。</p>
委員	<p>私も2回目で、以前と同じように施設が素晴らしいなということと、他の方もおっしゃっていましたが、何でも、何で樹木がないのという印象を今回も受けました。やっぱり学校といえば木があって当たり前とと思っていますので、校庭に出たときに何か足りないという印象がありました。</p> <p>昼休み時間で小学生が元気よく出てきて挨拶もしてくれて、明るくて元気な子達だなとは思いましたが、中学生の姿が少ないなというのは思いました。中学生だってまだまだ力があり余っていて、外で動き回って発散できる年頃だろうに、何でこんなに少ないのかなという印象を持ちました。</p> <p>前は、すごい施設という印象のほうが強くて、説明を受けたものも余り頭に入っていなかったのですけれども、1年生から9年生という形をとっている学校なんだと私自身が思い込んでいたんですが、小学校の6年間、中学校の3年間ということで、小学校を卒業するとか、中学校に入学するというのもやっていらっしゃるという話を聞いて、ああ、これは少し参考になる部分があるのかなという印象を持ちました。</p>
委員	<p>私は初めて視察に行きましたけれども、事前に学校案内、学校要覧等をいただいていたので、大体思い描いたイメージどおりのものだなと。ただ、実際、高円寺地域と環境とか地域性も違います。</p> <p>いろいろお話を伺った中で、でき上がった後の課題は少し聞けたかと思えます。例えば運動会を小中でやったけれども、キャパの問題で次年度から小学校、中学校を分けてやるようになったとか、先ほどどなたかお話がありましたけれども、ランチルーム。もともと教室が増える想定でつくっていたという話もありましたけれども、子どもが増えてきたという当初の見極めの問題も出てきたという点は参考になるかなと思いました。</p> <p>ただ、我々が知りたいのは、我々がこの懇談会でやりたいのは、これからどういった学校像のもとにどういった施設をつくるかということだと思いますので、実際、この渋谷本町学園が実施設計から入って、どのような地域の意見があって、どのようにあのような施設ができたかというプロセスのほうを正直知りたかったかなと思っております。以上です。</p>
委員	<p>地域性としては、町中にあるという意味では非常に無機質なイメージがありまして、もうちょっと何か木のぬくもりみたいなものはあってもいいのかなという感じがしました。これから学校をつくっていく過程では杉並というところをもう少し押し出してもいいかなと。</p> <p>ただ、学校としては非常に機能的で、正直言って、私は小中一貫校ってどういう意味があるかなと思っていたんですけれども、見て、目からうるこというわけじゃないんですけれども、我々が悩んでいることをやっぱり皆さん同じように悩んであいう形でつくられたんだという意味では、機能的に非常に素晴らしい点が見受けられました。</p>

	<p>実際、杉並区もあんなすごいのできるのかなと。できたらいいなみたいな。あんな環境で子どもが育ったら、有意義に9年間が過ごせるかなと。私はやっぱり6・3・3という形はある程度残したいなという思いはあったので、6・3制を生かしつつ、やる価値はあるんだなと、少し何かやる気が出てきました。悪いことを言っても切りがないですし、いいことだけでとどめておきます。</p>
委員	<p>前回の視察は欠席させていただきましたけれども、新しい学校像という資料ののっつてご意見を少し言わせていただきたいと思います。</p> <p>新しい学校の特色となる教育内容がいろいろ挙げられています。これは個人の能力の資質に関することで、市民社会と学校というようなことにくられる内容です。どうも今は学校と共同体ということも考えざるを得ない。共同体と言った場合、人と人との関係性をどうするかということを経験の場でどういうふう提案できるかが新しい時代の1つの要素だと思います。</p> <p>そういう意味で、地域の人が集まれるコミュニティスペース、これは大変重要だと思います。そういうことで関係性をつくる。高円寺に住む人たちの人と人との関係性を育てる、そういう学校にする。管理は地域の人に任せる。学校は学校教育、そういうことを1つ明確に出されると、新しい学校像が上がる。</p> <p>昔、「方法としてのアジア」と竹内好が言った。「方法としての日本」というのを松本正剛が言った。このごろは「方法としての村」。村って何かというと、共同体。共同体というところに焦点を合わせながら学校もやっていかないと、次の時代がつかれない。高円寺からそういう目に見えない地域の人たちの共同体をつくれるような提案ができる学校ができると、日本の中でも素晴らしい学校となるのではないかと思います。</p> <p>2つ目は、特別支援学級に力を入れる。学校の中で教育面で直していく。そういう力が求められていると思います。そういう方向性を出して職員を配置すれば、学校の中でそういう配慮を要する子どもたちの学級をつくれる。うまく適応する、また、その子の能力を開発できる。そうすると、やっぱり学校は共同体化しなきゃいけない。そういう意味で、学校の中で教育を通して問題のあるとされている子どもたちを育てる。それにはどういうふうな教室のつくりをすればいいのか。こういうことをすれば、この学校も新しい学校提起をできるんじゃないかと思います。以上です。</p>
学校教育担当部長	<p>それでは、視察のバスの中でご挨拶させていただきましたけれども、改めまして、7月1日付で学校教育担当部長になりました和久井と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>私も視察に参加させていただきました。第一印象は立派な学校だなと。施設、設備がすごいなという印象を持ちました。1つは、図書室だとか校庭が中学生、小学生の共用で使う施設になっておりまして、上級生と下級生が交流できる環境はあるなと。うまく使っていけば、上級生が下の子どもたちの面倒を見るような環境はできていると思いました。</p> <p>ただ、反面、児童・生徒数が多くなりますので、運動会も最初は一遍にやったけれども、その後からは分けたとか、入学式、卒業式も別々にやっている。学校運営をしていく中で、様々な行事ですとか、そういったやり方を具体的に検討していかなければいけないということを感じてまいりました。</p>

委員	<p>本当にきれいな学校だなというのが第一印象だったのですけれども、我々教員の中では実際にどのようにして時程は揃えているのかとか、校務分掌がどうなるのかというところの話題が結構出たりするので、中身の部分を知りたいなと思いました。</p> <p>運動会が小中別になったりだとか、チャイムの鳴るタイミングだとか、多分これ以外にも本当に細かな部分で、きっと日々、今も検討されている部分や課題がある部分もあるんだろうなと感じました。今後、いろんな部分で参考にさせていただければありがたいかなと感じました。</p> <p>また、本校では子どもたちが阿波踊りに取り組んでおります。また、小学生は学芸会とかいろいろあつたりします。渋谷本町学園では、施設も、舞台なんかも割合ゆったりとれていたのかなと感じました。恐らくこの高円寺になると、小学校や中学校だとか、いろんな部分を継承していくものがあると思うので、ああいうようなゆったりとした施設があるのはいいかなと感じました。</p> <p>本当にいろいろと明るい感じはしたんですが、緑については本校と比べるとやはりちょっと寂しいかなとは感じましたけれども、中身の部分は我々も考えていかなければいけないなと、また改めて感じました。以上です。</p>
委員	<p>学校の対応がありまして、視察には参加できず、申し訳ありませんでした。いろいろ皆さんのお話を聞いたり、これまでの経過でちょっと考えたことをお話しさせていただければなと思います。</p> <p>今、他の委員からありましたように、教員といたしましては、施設も本当に充実してすばらしいと思うんですが、まず気になるのは、やっぱり一貫性、系統性を生かしたカリキュラムをこれからどう教員が主体になってつくっていかなければいけないかということにすごく悩んでいる部分があります。</p> <p>あと、施設に関しましてはいろんな前例がありますので、高円寺に合ったものを参考にしていけたらいいかなと思います。そのほかにも、地域や保護者の再編ということに関しても学校は無関係ではないので、そういう視点も学校は持っていかななくてはいいかなと思っています。</p> <p>また、杉四、杉八、高円寺中も1つになるということで、今までの学校をどのようにおさめていくかということもこれから考えていかなければいけない重要な視点であるかなと思います。それは施設のハードということもありますが、児童・生徒にとって自分たちの学校がこれからなくなるということに関しましては、心理的なことも考えて対応していかななくてはならないかなと考えております。</p> <p>この本町学園に関しましては、本町小、本町東小、本町中学校でいろんな準備とか計画をして、細心のことを考えてつくられていったんだなということは十分理解できます。ただ、やはり小中一貫教育校としてまだ日も浅い中で、最初からうまくいくということはなかなかないことかなと思います。いろんな課題をはらんで、少しずつ解決して、向上していくという今発展途上の位置にあるのかなと思います。</p> <p>このいただいた資料の中で一番素晴らしいと思うのがやはり高円寺に立地しているということで、目指す一貫校で高円寺らしさをどう出していかなとこのころだと思います。私が今感じているのは、すごく高円寺という場所は親しみやすいし、住みやすいし、人がつながりやすい場所だなと感じていますので、それらのよさがすべて発揮できるような学校がいいかなと思います。杉並に関しまして、前例の杉並和泉学園がありますので、その情報もいただきながら進められたらいいかなと思います。以上です。</p>

委員	<p>今回、視察に初めて参加させていただきました。先ほどから皆さんがおっしゃっているように、施設を見て、ああ、すごいなという、本当に単純にすごいな、きれいだなという印象でした。事前に体育館とかプールのお話を聞いていたので、期待していたんですけども、まず、プールのほうは床可動式を実際に見せていただいて、これはすごい参考になるなと思いました。</p> <p>体育館のほうなんですけれども、2つあって、どちらも立派で、それぞれの行事で使い分けたりしているというお話でした。先ほど他の委員もおっしゃってましたけれども、体育館に行くまでの階段が全体的に狭い感じがしました。特に地下においていく階段なんですけれども、非常に狭く感じたんですね。もし何かあったときに、例えば体育館が避難場所になったり、防災面を考えると、非常に怖い場所だなと思ったんです。確かに体育館をつくるのは、多分ここでもいろんなプランが出てくる中で、地下にという話になってくるかと思うんですけども、体育館は立派だけれども、その周りのことももっとちゃんと考えて計画をしていかなければいけないのかなと感じました。</p> <p>あと、木が少ないというお話も、行ってみて、木は気持ち植えてあるけれども、少ないなという感じでした。植えているところはいいんですけども、植えていなくてちょこっとしたスペースがあって、杉四小の学級園ほどのスペースはないんですけども、その手入れが全然できていない。こんなにスペースがあるのにもったいないというところもありました。</p> <p>参考になったお話は行事で、運動会を一緒にやったけれども、別々にしたとか、入学式、卒業式は別々にやっているという行事の運営については参考になりました。</p> <p>あと、チャイムを日にそんなに鳴らさないということでしたが、杉四小の5、6年生が週に1回高円寺中に来ています。自分の子どもが5、6年のときにチャイムはどうなのかなと思っていたんですけども、小学校の先生がうまく調整してくださっていたと思うんですが、最初からないものであれば先生も子どもたちももっと時間を意識して行動できるようになるのかなと、渋谷本町学園さんのやり方を聞いてそういった期待を持ちました。</p> <p>あと、私が気に入ったのは、玄関を入れてすぐ1階に図書室があったんですけども、本が全部一緒になっているんじゃなくて、小学生のコーナーと中学生のコーナーが分かれていまして、分類の方法も小学生は2桁の分類になっていて、中学生のほうはもうちょっと細かく、冊数からしたらそんなに多くは感じなかったんですけども、結構丁寧な分類をされていて、小学生のほうでこの本を見たかったら中学生のこっちのほうにあるよとか、中学生のほうでも詩集を読みたかったら小学生のここのコーナーにあるよという丁寧な案内がされていて、すごいいい図書室だなと感じました。</p> <p>残念に思った点は、せっかく学年でフロア別に最初工夫されて設定された教室なのに、人数の関係で学年があちこち行ってしまったりというのは、昔、杉四小もスペースがなくて、いろんな学年がいろんなところに行ったときに、子どもたちは大変だなと思った経験があるものですから、やはりその点は、幾ら考えても難しい問題かもしれないんですけども、ある程度余裕を持って今後考えていかなければいけないなと思いました。</p> <p>あと、学校の中に本当に地域の人声が反映されているのかなというか、地域の姿が見えない。私はPTAなので、高円寺中の中にPTA室を置かせていただいた</p>
----	---

	<p>り、杉四小学校のときには開放会議室のところにPTAのスペースを置かせていただいたりしていたんですけども、PTAの人たちはどこで活動しているのかなとか、地域で何かイベントとかがあったときは一体どこで何をするのかなとか、そういうことを思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>私も初めて視察に行かせていただきまして、本当に率直な感想としては、すごいなという一言で、あそこまででなくても大丈夫かなと思いました。というのは、やっぱり自然のことを皆さんもおっしゃっていましたが、ちょっと人工的すぎるかなという印象があったことと、余りにもスペースにゆとりがありすぎて、私の小学校というイメージからすると、余りにも大き過ぎる印象です。</p> <p>例えば学校の中でどういうふうにかリキュラムを展開していくかとか、チャイムをどう鳴らしていくかとか、そういったことは、後から現状に合わせて対応ができると思うんです。ですけども、建物とか施設、教室を1つつくってしまったらすると、ある程度長い時間それを使っていかなければいけない。後でいろいろ変更がきくように工夫はされているんでしょうけれども、余りにもそれを考えるがために日々の生活の快適さがどこまで考えられているのかなという印象を持ちました。本当に数時間歩いてみただけでそういう印象を抱いてしまうのはどうなのかなとは思いますが、あそこに、例えばPTA活動で行ったときに、広すぎて本当に一仕事だなという感じがしました。</p> <p>1つの例としての視察なので、こういうところはよかった、ああいうところはよかった、細かいところを言えばあるんですけども、では、高円寺らしい学校ってどうなんだろうとか、区民に開放される施設ってどういうものなんだろうということ考えたときに非常に参考になりました。やっぱり学校は学校であってほしいという気持ちがあるので、プールを開放するとか、いろんな施設を開放するというのはもちろん機能として考えていかなければいけないとは思いますが、そういったときに高円寺の立地は、本当に駅からすぐ近くなのできっと予想以上の利用者があったり、いわゆる学校らしさというものがどう保っていけるか、どういうふうになるのかとか、そういったことをもやもやと考えながら帰ってきました。</p>
<p>委員</p>	<p>私は2回目の視察だったのでですけども、1回目の視察のときにとにかく緑が少ないことが一番。本当に緑がもう少しあったらいいのになとすごく感じて帰ってきて、また2年ぶりに行ってみたら、やっぱり緑が少ないのが一番印象に残りました。校長先生も代わられていて、多分2年くらい進んで、また新たなスタートという形でやっとあの学校は進み始めたんじゃないかなと思いました。</p> <p>前回、運動会を一緒にやりますというのを聞きまして、私の中では絶対無理だろうと思っていたら、やっぱり小中別に分けましたという話を聞きました。小中が一緒にやる運動会なんて、出番がなくて、子ども達が輝けない、そんな運動会をどうやってやるんだろうとすごく気になっていたんで、運動会を別々にやることになったというのを聞いたときは、ああ、よかったなと思えました。そういう形で日々いろんなことをやりながら、きっと向こうの学校の皆さんも、保護者の方、地域の方を含めながらいろいろ発見して、新しい、いい学校づくりを今もまだ続けているんじゃないかなとすごく思いました。</p> <p>あの学校を見させていただいて、あれがすべてではないと思いますが、私たちがこれからつくろうとしている高円寺に合った高円寺らしい学校というところに参考になるものを持ってくればいいかなと思えますし、私たちが毎日毎日、学校</p>

	<p>がスタートしても同じように新しい学校づくりがずっと続いていくんじゃないかなと思います。そういう面では視察した学校だけじゃなく、同じ杉並区でこれからできる杉並和泉学園からもいろいろな情報が入るのかなと思いますので参考にさせていただけたらと思います。</p> <p>保護者の方の意見を知りたいなと思ったんですけども、アンケートもとっていないということでした。実際、2年間始まってみての保護者の意見というのは、保護者としたらすごく一番知りたい部分であったので、そういう情報も入ると、これからの私たちのPTA活動にもすごく参考にさせていただけるのではないかなと思いました。</p> <p>施設面は、やっぱり新しい学校ですので、素晴らしいものができ上がっているなと思って見させていただいて、教室がオープンになって廊下がすごくゆったりとれているスペースがちょっと無駄に広いスペースだなという印象があったので、もう少し廊下が狭くてもいいのかなと思いました。あれで学校公開なんかがあったら、あそこ一面に保護者が広がって、下の子を連れてきた場合、子どもが遊び放題になってしまうぐらいのスペースがあるなと思ったりもしたので、もう少し規模が小さくなった設計でもそんなに問題はないのかな。広い分にはいいとは思いますが、削れる分はもう少し削ったような設計がいいなと思いました。</p> <p>あと、ランチルームをこれから教室に変更しますというお話をお聞きしたときに、やっぱりそういう問題は必ず出てくるので、私たちがつくろうとしている新しい学校も、急いで慌ててつくらなきゃいけないということではなく、これから先何十年、ずっと使っていく学校と考えたら、やっぱり焦らず、きちんとこの高円寺に合ったものを見据えて計画して、皆さんと一緒に考えていけるほうがいいのではないかなと思いました。</p>
委員	<p>とにかく第一印象はすごい学校だなという印象でした。ただ、すごく近代的で、ああ、渋谷区の学校なんだな、これが杉並区の高円寺にあっても、きっと似合わないんじゃないかなという印象は受けました。ただ、建物の中の施設は、もちろんお金をかけてつくっているのだから、素晴らしいものがあったと思うし、ああいうものが全部本当に今度新しくできる高円寺の学校にできたら素晴らしいなということは感じたんですけども、やはり校庭を見たときに、人工芝ですよ。そこに休み時間、子ども達が出てきたんですけども、人工芝なので多分汚れないのかなと思うんですが、そこに遠足でお弁当を食べているような感じで真ん中に座り込んでいる子ども達もいたんですね。それを見たときに、その横でボール遊びとか、そういうのでできるのかなと思って。私のイメージは、やっぱり昼休みは外に出て、泥んこになってもいいから子ども達が元気に遊ぶ姿を想像したんですけども、ちょっと遊び方が違うなというのは人工芝のせいかなと感じました。</p> <p>あと、中学生にとってはいいのかなと思うんですが、小学生はやっぱり緑があると、虫が飛んできたり、雑草でも何でも自然に咲いたものを見て、きれいだなという感性が育つと思うので、やっぱり高円寺には緑のある学校で、あそこの学校は渋谷区の学校でとてもいいと思うんですけども、高円寺には高円寺らしい学校をつくっていただけたいかなと感じました。以上です。</p>
委員	<p>私は所用で欠席させていただいたんですが、今、皆さんのご覧になったご意見を伺っていて1つ思いましたのが、恐らく今後、この高円寺の新しい学校が基本設計に入っていく中で、基本設計の設計者が入っているチームの方々が考えていること</p>

	<p>と、今皆さんがおっしゃった意見というのは多分思いもつかないような意見だと思っ うんですね。</p> <p>ただ、逆に今、皆さんの目で見えてきて、皆さんが感じたことが一番重要なことだ と思いますので、それを基本設計、ゾーニングの段階までずっと継承して行ってほ しいなというのが1つあります。恐らく実際に使ってみた方ですとか、地域の我々 みたいな人間が見る視点は全くもって違う視点だと思いますので、そういう意見を どんどん吸い上げていただいて、設計に反映していただけたらと思いました。</p>
委員	<p>前々回、小グループに分かれて討議されたとき欠席いたしまして、申し訳ござい ませんでした。議事録を見せていただいて、素晴らしい、突っ込んだ意見が出てい て、非常に参考になりました。</p> <p>今回、施設見学は2回目なのですが、皆さん意見を出されたとおりで、もう何も 言うことはないんですけども、私が一番感じたことは、やはり緑ですね。高円寺 中学校には大きな古い大木もありますし、ぜひこれからどういう設計を立てるか、 建ぺい率の問題だとか、日照権の問題だとか、いろいろあると思うんですが、極力 木を残して、ぬくもりのある学校をつくってもらいたいと、つくづく感じておりま す。</p> <p>それともう一つなんですけれども、特別支援学級が入っているということなん ですけれども、この問題について地域の方々がどのような取り組みが必要だったのか、 どのようなことがやられているのか、高円寺地域としてもやはりそういうものに対 して環境づくりというか、そういうものが重要になってくるのではないかと。もち ろん学校としての対応も新たな問題なので、その辺を十分検討する必要があるんじ ゃないかと思います。</p> <p>見学したところについては、ハード面については新しい学校ですから素晴らしく 進んでいるものがあります。ですけれども、やはり学校というところは地域におい ても防災拠点としての重要な位置でもありますので、この辺を十分考えて今後つく っていかねばいけないんじゃないかなと思います。</p> <p>ハード面なんですけれども、先方さんも非常に試行錯誤しながら進めているんじ ゃないかなと思います。そういった面で、我々がこうやって話し合っていますけれ ども、100%完成というものはないので、素晴らしいものをつくりながら、逐次反省 しながら、検証しながらいい学校をつくっていければいいんじゃないかなと思いま す。</p> <p>やはり高円寺地区としては、杉四、杉八、高中とそれぞれ3校とも素晴らしいも のを持っていますので、それを生かしながら、伸ばしながら、新しい学校をつくっ ていく。できればこれから高齢化社会に入りますので、地域との結びつき、おじい ちゃん、おばあちゃんがフランクに入れるようなコミュニティスペースも必要じゃ ないかと思えますし、9年間、または11年間、小さい子どもたちに何とか結びつき ながらいい子を育てていくという環境づくりの中で新しい学校をつくれればいいんじ ゃないかと思えます。</p> <p>先ほどどなたかおっしゃいましたけれども、私は図書室が非常に素晴らしいなと 思いました。でも、あれが決して100%とは思いません。だから、どこのところでも いいものはあるんですけども、それ以上のものをつくる。できればもう少しスペ ースがあってもいいかな、充実してもいいかなと思いましたが、あの図書室 は非常によかったかなと思います。それ以上のものを、すべてのものなんですけれど</p>

	<p>も、やはり新しい学校は素晴らしいものをつくっていききたいと考えます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。では、校長先生方は後ほどのプレゼンの時間で合わせて言っていただくと助かります。</p> <p>この間見ていただいたところから、感想のみならず、新しい学校像をどうしていくのかということも沢山のお話を頂戴できましたが、1時間使ってしまったので本当にごめんなさい。時間をたくさん使ってしまったが、自分ではいい話が伺えたかなと考えています。</p> <p>学校像につきましてはグループディスカッションもさせていただきましたし、今日もいろいろお話を頂戴したので、次第2に移りたいと思います。</p> <p>これまでのご意見を踏まえて、具体性を持ったところにだんだん近づいていきたいと思うんですけれども、次第2につきまして、事務局からご説明いただけますでしょうか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>それでは、私のほうから説明させていただきます。</p> <p>まず、資料1でございますが、第2回目の懇談会での意見と、第3回目のグループディスカッションでの意見を踏まえまして、事務局で仮に柱立てをしながら意見を整理した資料になります。</p> <p>まず、「高円寺らしさを生かした学校」として、1番に「地域とつながる、地域力を生かす学校」だろうと。高円寺地域だけでなく、どこの地域でも通ずるようなフレーズでもあるんですけれども、これまで出されました主な意見にもありますとおり、これが紛れもなく高円寺の本質であって、これまでも地域とのつながりや、その力に支えられて学校運営が行われているということもあって、新校ではさらに強力な地域の力を生かしていくんだらうということだと思います。まずこれを1つ柱立てをさせていただきました。</p> <p>次に、渋谷本町学園の視察の感想の部分でも出てきましたけれども、やはり「3校の優れた教育の特色を継承した学校」が1つ高円寺らしさになるだろうということと柱立てをしました。各校でこれまで積み重ね、展開してきた優れた教育の特色を引き続き大切にしていきたいという意見も当然ながらこれまでの懇談会でも多かったと思います。</p> <p>次に、3番で「新校の特色となる教育内容」ということでは、新校の特徴ともなる何かに特化した学校ができればよいのではないかとのご意見が複数あったかと思えます。こちらにも書いてあるとおり、国際理解、国際感覚を身につけるという点での英語力だとかコミュニケーション能力、基礎学力とも言える部分なんですけれども、国語や英語を含めた語学をしっかりと身につけさせたいという意見。あとは、学力を支える体力づくりに力を入れることによって、そのことを通じてチームワークだとか協調性を学んで、他者を思いやる心が醸成できるのではないかとのご意見。あとは、スーパーサイエンス校というような意見だったので、科学に触れられる教育環境を整備して、理科教育などに力点を置いていくのがよいのではないかなどのご意見をいただいております。</p> <p>この1から3までの柱立てした部分が、今後、3校の教員の皆様で進めていただいている合同研究会で、新校における教育方針について検討を行う上での大変重要になってくる部分だと思いますので、この資料のたたき台をもとに、この内容についてもう少し議論を深めていただければと思います。</p>

次に、「教育活動を支える新校舎の施設・機能」ということでは、4番で「地域コミュニティの場となる学校」ということで、地域の方が学校に足を運んでくれる、学校を核として地域の方の学びの場となったり、交流を深められるコミュニティスペース、あと生きる力、意欲を持つ子どもを育てたいというところでは、大人と触れ合えるようなスペースがあるとよいという意見をこれまでもいただいておりません。ただ、そうは言っても、落ちついて学校生活を送るための環境の確保だとか、セキュリティ上の観点からも、学校教育エリアと地域開放エリアのゾーン分けは必要であるという意見。この辺、今後、校舎の配置だとか、動線だとか、設計の部分にも大きく関わってくるような視点にもなるかと思えます。

また、木造が密集している地域でもあるということで、地域防災の拠点としての充実した施設機能を備えた学校であることが必要だろうと。あとは、学校が優先であっても、地域でスポーツ活動ができる機能、総合型地域スポーツクラブ的な拠点施設機能が整備されるとよいのではというような意見もいただいておりました。

次に、「高円寺地域の特色ある学校施設機能」として、新校舎内に設置予定の学童クラブについては、学童が始まる前には未就学児が利用したり活用できるスペースとしたらよいのではないかという意見。あと、児童・生徒が現在取り組んでおります太鼓や琴、阿波踊りの練習を気兼ねしないでできる防音設備が整備された多目的室が必要だろうというご意見。あと、限られた校地なんですけれども、ある程度の広さがある校庭だったり、大アリーナ、小アリーナが必要であろうというような意見。あとは、9学年が使用するプールが必要だったり、可能な限りスポーツが存分にできるスペースを確保したいというのが主な意見だったと思えます。

6番として、最後に「地域の子どもだれもが通え、居心地のよい学校」ということで、さまざまな支援が必要な子も含めて、地域の子ども誰もが通える特別支援学級だったり、クールダウンスペースが設置された学校だとよいのではないかと。あと、地域の高齢者の方など、誰もが通いやすく、そういう学校施設、ユニバーサルデザイン化された施設が必要なのではないかという意見。あと、新校の特色となる教育内容のところにもありましたが、国際感覚が身につくような環境の整備が必要なんじゃないかという意見。渋谷本町学園の視察が終わってたくさんご意見があったように、近未来的、人工的なものよりも、やはり緑があって、自然と触れ合えるような機会がある、季節感のある学校にしていきたいという意見がございました。

4から6までの柱立てについては、今後具体化していく施設・機能、校舎のボリューム感などに大きく影響してくる部分でもございますので、先ほど委員の皆様から渋谷本町学園の視察を踏まえて、こういう部分を取り入れていきたいとか、こういう部分は高円寺にはふさわしくないんじゃないかというご意見がありましたけれども、そういうご意見、感想なんかも加味していただきながら、この4番から6番までの内容について少し詰めていければなと思っております。

資料2につきましては、前々回のグループディスカッションの各班の発表シートの内容を転記した資料となります。こちらもちょうど参考にさせていただきながら、検討を深めていただければと思います。資料の説明については以上となります。よろしく申し上げます。

会長

ありがとうございます。いっぱい出てきたご意見を上手にまとめていただきまして、ありがとうございます。

何かこの資料につきまして、ご質問はございますでしょうか。

委員	<p>今、この学校像ということでご説明をいただきまして、恐らくこの懇談会の中から要望で出てきたものかと思います。これは、ソフト面もハード面も全部ひっくるめて考えて、必要最低限のものを確保しようと思ったら、とてもキャパを考えると追いつかないんじゃないかなと正直感じております。</p> <p>この計画が定まる3～4年ぐらい前からいろんな説明会等がございましたときに、当初は高円寺地区6校を対象にした説明会等もあったかと思うんですが、その際、新校を設立するに当たって想定されるクラスは幾つだと私は質問したことがあります。そのときに4というお答えをいただきました。恐らく小学生が100人近く、各校となると4クラスになりますか。渋谷の件もありますけれども、人数が増えると当然クラス数も増えてきます。渋谷で衝撃的なことを言っていましたよね。入学するために住民票を移すと。住民票を移したらもう排除できないんですよ。そういったものを想定すると、4クラス。中学校は4いかないかもしれませんが、普通教室が最低30必要になるわけですよ。それに杉四小と、当時、高円寺北幼稚園、平成17年から幼小連携で行ってきた、これは非常にいい効果が出ていると思います。そういった機能まで含めて、さらにクラブ活動等の機能を全部整えるとなると、とてもとても賄えないというのが私が正直思っているところでございます。</p> <p>平成17年、杉四小に高円寺北幼稚園が入りました。そのときもすごい議論がありました。そのときに、杉四小は将来的にもオール単学級ですというご説明の中で幼稚園が入っていきました。その後人数も増え、学校希望制度等も出てきましたけれども、人数が増え、教室が足りなくなり、また幼稚園が子供園にかわるという時点で改修工事をしたという経緯があります。そのときに教育委員会に質問した内容でも、5年前の単学級だという考え方はどうだったんだという質問に対しては、見誤りましたということもはっきりおっしゃられていました。私も平成17年にそういったことに携わった保護者としては、非常に申し訳なく思っているところでございます。</p> <p>ですので、これからいろんな設計等に入っていかと思うんですけれども、この懇談会の第1回目にもおっしゃられたと思うんですが、地域の意見を十分反映していく。これは先に設計ができてしまったら、反映できないと思うんです。これを本当に我々懇談会の中でも責任を持って、また懇談していく中で様々な要望を出していった、それを反映させていただきたい。恐らく今後の校地で建てる施設だけではとても機能としては賄えないんじゃないかなと。地域の機能としてですね。私はそういうふうに思いますので、ぜひ懇談会の委員の皆様も積極的にご意見、要望等、また、各々の団体の意見を集約していただきまして、それらをもってぜひ教育委員会では本当に覚悟を持って先に進めていただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にはいかがでございましょうか。ご質問でも、ご意見でもあれば、この場で頂戴できるとありがたいんですけども。</p>
委員	<p>今、他の委員がおっしゃったように、新校の特色となる教育内容を見ていったりしますと、これらが全てできたら本当に素敵な学校だろうなと思いますけれども、やはりこれだけのものを全て取り込むというのは、実際問題、かなり難しいことだろうとは感じています。</p> <p>あとは、今、前提として校地は杉四小の校地を使うこともあるかもしれないというお話ではありますけれども、もしもこれだけのことをやろうと思ったら、多分こ</p>

	<p>この高円寺中の校地だけでは到底賄えないだろうなとは思いますが、前提として、地域と一緒に関わるような部分は杉四小のほうで使えるのかとか、どの時点で決まるものなのか。そこも含めて私たちは考えてもいいのか、そこら辺を早目に知りたいかなと。杉四小の跡地がどうなるかというのは、使い方はこれから考えていくことではありますけれども、私たちの中でそこも含めて考えていいのかどうかというのも1つクリアできたらいいかなと思っています。</p>
学校支援課長	<p>確かに施設再編で杉四小の跡地がどうなのかというのはまだ決まったものではなくて、庁内でも検討しているところですけども、教育委員会としては杉四小の校庭、校地を学校教育活動に活用していきたいと考え、区長部局ともこれから交渉していきたいと思っております。</p>
委員	<p>校地ということで、今の校舎を建て直す、建て直さないはともかくとして、そこも含めて考えていってよいということですか。</p>
学校支援課長	<p>はい。校舎は平成になってからできたものですから、これを全く解体してということはちょっとあり得ないと思うんですけども、例えば一部改修なりをしながら学校教育活動、さらに生涯学習とかにも使いながら、教育委員会としてもいろいろ活用していきたいという思いはあります。</p> <p>皆さんからいろいろご意見をいただいて、それをまた持って帰って、区長部局とも一緒に考えていきたいと思っておりますので、ぜひご意見をいただければと思います。</p>
委員	<p>はい。ありがとうございました。</p>
会長	<p>ということで、それを含めて検討してくださるということですので。</p>
委員	<p>ここが新校の校地となるんですけども、ここは高円寺北一丁目です。当然、建築等になれば、地域の方の協力等も得ていかなければならないと思います。懇談会の中に一丁目の方がいらっしゃると思うんですが、一丁目町会としてはここに参加していませんよね。その地縁団体が後から聞くというような状況でこういった懇談を進めていくのが非常に私は不安が残るところでございます。そのところはご検討いただきたいと思います。</p>
学校支援課長	<p>また町会等については教育委員会のほうからお話もしていきたいと思えますし、懇談会もまだ始まったばかりですので、ちょっと今、余り動かしたくないなと思えますけれども、それについてもまた今後は検討していく余地はあると考えております。</p>
会長	<p>では、今の町会の件についても、今後の検討ということでお願いできればと思います。</p> <p>ほかには何かございますでしょうか。今、この時点ではこういう形でまとめてくださっているの、今日も皆さん方からいろんなご意見を伺っておければと思っております。</p>
委員	<p>私もこれを拝見しまして思うんですけども、すごく理想像としてこの資料1が出てきていると思うんです。もしもこれを全部本当にやるとすれば、皆さんおっしゃるとおり、大変なスペースやら、お金も含めていろいろかかるような気がするんです。我々が今この資料をいただいたというのは、これを目指して、これに向かってみんなで懇談して、新しい学校をつくっていこうという意思の表れととってよろしいんでしょうか。</p>

学校支援課長	おっしゃるとおりで、本当にこの全てが入られるかというとなかなか難しいかもしれませんが、けれども、なるべく沢山盛り込んでいけるような形に皆さんと相談しながらやっていきたいと思っております。
委員	この中に、例えばの話、「総合型地域スポーツクラブの拠点施設機能を整備」と書いてございます。これはこれからの大きな課題かと思うんですけども、こういうことも全て視野に入れていくということで考えてられていると。
学校支援課長	最初から校地が狭いからだめだということではなくて、なるべく沢山入れて、子どもたちの教育をよりよくしていきたいということで考えております。
委員	ただ、この総合型地域スポーツクラブとなると、学校関係者以外の方もここには加わってくる可能性がありますよね。そういったものをどうやって今後取り入れていくか。それについては、例えば他に空いた校地を利用するのか、いろいろ検討の中にはあると思うんですけども、非常に大きな問題だと思うので、その辺もこれを目指すという表れと理解してよろしいでしょうか。
学校支援課長	スポーツ推進計画というのが今教育委員会にはございまして、その中でこの総合型地域スポーツクラブが入っています。これは高円寺の課題だけではなく、全区的な課題になっておりますので、そういった中でまた高円寺でもそういったことができればよいと考えております。
新しい学校づくり係長	<p>この資料1なんですけれども、先ほど説明しましたように、2回目、3回目と委員の皆様からいろいろ夢を語っていただく中で、様々な視点で出していただいた意見ということにもなりますので、確かに現実的に高円寺中の校地に新しい学校をつくったときに、この辺の機能まで入れ込んでいったときに果たして成り立つ話なのかどうかということも含んでいる意見と考えていただいてもいいと思うんです。</p> <p>それで、先ほど委員からも、例えば高円寺の校地で完結できない部分については杉四小の活用についても考えられるのかというお話があったかと思うんですけども、これはあくまで本当に委員の皆様からこれまでいろんな視点で出していただいた意見を事務局として仮にまとめた資料になるので、すぐにこの方向性をこの資料どおり目指すということではなくて、これまで出された意見を精査して、こういうところをしっかりと入れ込んでいきたいから、例えば重きを置く部分と、やはりこの機能はちょっと無理かもしれないねということも今後具体的に話していただいたいということで、今回作成した資料とご理解いただければと思います。</p>
委員	今のお話もそうなんですけれども、地域の人が入ってくる学校というのはもちろん大切なんですけれども、まず第一に考えなければいけないのは、学びの場であるということをもっと重点的に考えていただいて、今お話があったように、それに合わせて何を入れ込んでいくかを考えていかないとちょっとずれてしまうので、やっぱり子どもたちが落ちついて学びができる場ということをまず第一に皆さんで考えてもらいたいと思います。
会長	ありがとうございます。今の視点は大事ですよ。何しろ子どもの学校ですので、それも含めてまちで一緒につくるということも考えながらということで、これまでこの話を続けてきまして、かなり話が広がった感じになっているかと思います。でも、個人的にはこれでいいんじゃないかなと思います。最初に広げていかないと、新しい学校のイメージもできませんし、それぞれの皆さん方の意見も伺いたいというのもありました。これからだんだん、どういう新しい学校が実際にできるのかに

	<p>ついでの話になっていこうかなと思います。</p> <p>この話については、各学校で先生方とも話をしております、3校では今年、みんなで研究を一緒にやっています。「かわりつなりの中で育つ高円寺の仲間」というテーマで、言語活動の充実というのをやっているところです。これにあわせて、それぞれの学校でも新しい学校づくりについてのイメージであったり、考えであったりというのはやっていく形に持っていく予定です。</p> <p>先ほど校長先生方からは渋谷の学校の感想は後でと言ってしまいましたけれども、それも含めて各学校からお話をしていただければと思います。</p> <p>では、杉四小、杉八小、高中という順番で参りたいと思いますので、お願いします。</p>
委員	<p>「新しい学校づくりに向けて」ということで、各校、この前の皆さんのご意見をもとに、学校でも話をする機会を持ちました。その中で、教員のほうからできるだけいろいろな意見を出してほしいということで一緒に話をしました。ただし、時間がなかなか十分とれなかったので、みんなで話をし、こうだというふうにはなっておりません。</p> <p>現在のところ、今、会長から話がありましたけれども、3校合同研修を年間を通して進めております。この3校合同研修とは、3校の教員がそれぞれやっている教育活動を取りあえずみんなで共通理解して、同じ視点で子ども達に教育をしていこうというスタンスです。それが基本になっていますので、それができていくと、新しい学校でも中学校の教員も、杉四小、杉八小の教員みんな同じような形で子どもたちに支援できるようになるだろうということなのです。</p> <p>それが行われていますので、それにプラス、今話をしている教育目標とかカリキュラムを設定していくという部分が必要なんです、はっきり言います、いかにせん時間がないということが言えます。現状の教育活動をしなければいけないことと、その他諸々の学校の現状に対応していくとなかなか難しい。そのところで時間を設定しなきゃいけないなということで、これが出てきたんですね。3校共通した時間設定がとれる特別体制をとるということで、教育特区ではありませんけれども、高円寺地区3校特区といいますか、それに専念できる時間を特別な形でとっていただくと、3校でこの話が非常に進めやすいのではないかなという意見がある教員から出てきました。</p> <p>それをやっていくためには、当然、ゴールは見えているわけで、タイムテーブルを決めていかなければいけない。私たちがタイムテーブルを決めていくというのも非常に大切な部分なんですけれども、区のほうと協議しながら、ここまでこれだよ、ここまでこれだよというふうにラインを刻んでいただくと、こちらとしても、ああ、やっていかなければいけないという部分が見えてくるだろうということで、進め方としてこういう部分が杉四の教員のほうから今後必要になるのではないかということになりました。特別な時間をとっていくのは非常に難しいんですけれども、来年度に向けて、またこの3校で研究をやっている部分にプラス、この話し合いのもとになる部分の時間設定、なおかつ考える時間、共通してそのほかのものが入ってこないような形で3校が取り組める、そういうものを設定していく必要があるなということなのです。</p> <p>ということで、今度は施設のところの話を教員としました。施設に関しては、杉四小はオープンです。実はこの渋谷本町学園の校舎は、よく見ると杉四小の校舎</p>

と似ているんですね。ただ、オープンのところの階段が外なのか、中なのかというぐらいで、基本的に同じで、全然違和感はなかったんですけども、教室に関してはあそこの学校は半オープンといいますか、オープンですが、扉が木でした。あれは非常にいいなと、私が教員に話をしたら、次のような話が出てきました。完全なるオープンというのはなかなか使いづらい。教育活動をしていく上で難しい部分もありますが、ああいう形にすると、普通の一般的な教室にもできるし、なおかつオープンの形で広いスペースでということが出来ますし、半オープンの形は非常にいいんじゃないかなという話が出ました。

あと、理科とか社会という部分の各クラス以外の教科の教室が必要ではないかという話が出ました。これは先ほど委員の皆さんから余裕という話が出ましたね。やはりこれは先を見越してという部分を含めて、ある程度そういう教室を設置していくことによって、今後のいろんなパターンに柔軟に対応できるという部分も含めて、各教科の教室が必要だよと。あと、大ランチルームも、せっかく1校になるという意味で、食事をしながら交流するのは一番の基本であろうという話が出ました。

それから、地域の学校であるという部分は、地域の方が集えるエリア、ビジターセンターが学校の中にある必要があるだろうと。ここのエリアと教育をしていく部分のエリアとうまく同居して、お互いがうまく関わり合える、そのような学校の作りが必要であるということを加えていきますと、学校支援本部という意味のスペースはかなり大きく、これから新しい学校になれば必要であろうという話が出ました。

それから、自然を生かしたビオトープ。これは、校舎は杉四小と本町と同じだと言ったのですが、何が違うかということ、ビオトープ系の理科園が杉四小は非常に立派にあります。杉四小、新しい校舎ができるときにあの形の理科園をつくっているんですね。最初、20年前は木がほとんどないというか、ボンと建てたような形で本当に人工的な感じだったのですが、20年以上経った今は非常に立派に理科園ができています。まさに自然を生かしたビオトープ的なものが必要であろうという話が出ました。あと、やはり体育館は2つは絶対ないと教育活動ができないだろうという話が教員の中から出てきました。

それから、私の意見もここで加えますと、やはり人工芝ですね。違和感がありました。やはり土の上で教育活動を行う、または緑の本当の芝生の上で教育活動を行うというのは必要ではないかなと思います。

あと、ビジターセンターの中で、せっかくだったら、地域の方の力も必要なんだけれども、プラス、もっと言えば役所の出張所的な機能もこの中に入れてしまえば、何かあればすぐ学校の中で、役所が遠くにあるんじゃないかと、高円寺のこの中ですべてできてしまうんじゃないかと。だから、地域の人プラス役所の人に入ってもらうという考え方はいいんじゃないか。なるほどなと私は思いましたけれども、そういう意味のビジターセンターです。

それでは、カリキュラムの内容です。教員のほうから出てきた部分、これがやはり多く出ました。高学年に教科担任制の導入と。現在、高校の教員と一緒にTTの授業を進めております。中学校の教員が入って教えるというところの意味合いの大きさを非常に実感しているところと、あと子ども達にも支持をされているところです。また、逆に、小学校の教員が中学校の数学の授業にも入っています。そういうような形も非常に進めるべきであろうと。まさに高学年から教科担任制は必要であ

	<p>ろうという意見が教員の中から出ました。</p> <p>それから、せっかく1つの学校になるんだったら、学校の特色という話が先ほど出ましたけれども、9年間連続して取り組む、ここならではの教育の取り組みが必要であろうと。例えば読書に特色を持つとか、暗唱活動を持っていくとか、作文に特化するとか、百人一首をみんなで全部覚えるとか、そのような新しい学校の特色を9年間継続して行えるものをメインにすれば非常にいいだろうと。</p> <p>それから、教員が小学生、中学生に関わっていくというのも1つなんだけれども、逆にもう一つ、子ども同士、中学生が小学生に勉強を教えるといえますか、教員のかわりに補佐をするなんていう部分が同じ一体型の校舎になればできるんじゃないか。まさに中学生がうまく小学生に関われるような状況をつくる必要があるだろう。それから部活動も、どうせだったら小学生からもう部活動に参加する。それぐらいやってもいいんじゃないかという話が出ました。</p> <p>続きまして、総合的な学習、これは小学校も中学校もやっているわけですが、各学年で年間を通したカリキュラムがあるわけですが、それをぜひ異学年交流を含めた総合的な学習をやっていくことによって、これも特色のある教育活動になるだろうと。それから、朝の学習、朝実習の時間とか放課後の補習タイムを設けて、そこに地域の人材、まさにここにいらっしゃる方が朝来ていただいて、朝実習の時間は先生がやってもらう。放課後は居残りをしている子どもたちに皆さん方、地域の方に先生をやってもらう。現在杉四、高中には帝京平成大学の学生が毎日大量にスクールサポーターとして入ってもらっています。大学との連携で大学生の活用もできるだろうという意見が出ました。</p> <p>あと、9年間を通した校則の設定、これも絶対必要であろうと。学習ルールの徹底、これも小学校、中学校別々につくるのではなくて、一体化したルールは必要であろうと。それから、小中合同の委員会、委員会活動も小中合同で、児童生徒会も当然1つでやっていくと、非常に動きがとれるだろうという話が出ました。</p> <p>最後です。地域と連携した年間を通したボランティア活動の実施。現在、3校は、実はかなりの部分で地域でのボランティア活動をやっています。ただし、それが各校ごとになっていたり、2校になっていたりという部分があります。それを年間を通した形でボランティアに特化して、常に地域の方と学校の子どもたちが一緒にボランティア活動ができる拠点、そういうような学校にしていくといいのではないかなという話が出ました。</p> <p>あと、商店街との連携でキャリア教育の推進ということで、これはすでに3校でやっています。商店街、地域との密着型で、いろいろな形で支援していただいています。キャリア教育で使わないと非常にもったいないなと思っております。商店街とタイアップできるというのは、まさにこれは高円寺の強みであると思っております。</p> <p>そういうところで、以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。質問については最後にまとめて伺います。</p> <p>では、杉八小、お願いできますか。</p>
副会長	<p>これまで、懇談会に出席しまして、学校からもやっぱり何か発信しなきゃいけない。学校のほうでどういうふうに考えているのかということをお話を借りたいと思います。</p> <p>本校の職員に、新しい高円寺の学校をどうしたいかということをお話してもらいま</p>

した。「何を言ってもいいですか」ということだったので、常識の範囲でできること、できないことはありますが、ざっくばらんに書いてもらいました。

1人で4つ、5つ書いた人もいますし、1つの先生方もいたんですけども、羅列して、私のほうで並べかえて整理しましたので、ちょっと私のほうで心に留まった言葉を中心に説明させていただきます。

まず、「特色ある学校」ということで、小学校から中学校につながるような特色ある活動を取り入れたいと考えている教員がいます。一個人の考えですけども、例えばということで吹奏楽、野球などの運動と出ていましたが、どうやって特色を出していくかというところ。またその下に、科学館の機能を補完できるような学校にしていけたらいいなという意見も出ていました。また、リーダーシップを発揮させて、今、とても盛んに言われている自己肯定感とか、有用感を育てたい。また、特色については1本太い柱を立てて、それに付随するものややっていったらどうかと。余り幾つも幾つも特色があるのはちょっと困るのではないかと。その中で、9年間の中で縦割り班をつくったらどうかなんていうのも出ていました。

次に「地域の力を活用できる学校」という項目として、今、杉八でやっているような「サタハチ」とか、親&児の会の活動はぜひ続けていってほしいなという意見です。小中一貫校ということで、9年間を通して多くの目で、みんなで子どもたちを見ていけたらいいなと。そこに保護者や地域ももちろんお手伝いいただいて、みんなで子どもたちを育てていきたいということでした。

次に、「施設要望」として、安全面を考慮してほしい。子どもの動線を考えた教室や特別教室の配置ということで、防災意識も持って考えると。また、特別に支援を要する児童が落ちついて勉強できるような形、例えば小教室とかオープンスペースをつくって、そこを活用していくような形ですね。また、教室の形についてはフレキシブルに対応できるような、前回見に行きましたオープンスクールのような形もいいんじゃないかという意見です。さらに、自然の力を利用した校舎ということで、杉八は結構花壇とか植物が充実していますので、それを踏襲できるような形にしたい。また、エコなんかも考えて、そういう校舎づくりもいいんじゃないかという声も出ています。

また、図書室やICT教室を設置し、学習情報センターとしての機能を持たせたい。そこに行けば自分たちで何か調べたりとか、理解したりできるような場所が1つあるといいなということです。ゆったりしたスペースやじゅうたんの床、ごろごろしながらたわむれるとか、安心するためにちょっと腰掛けて友達と話せるような場所があるといいですねということです。

プールの充実ということで、渋谷本町学園もそうでしたね。可動式の水位調節プールが必要じゃないか。小中9学年の水泳指導ということで、水位が調整できるといいですねということです。

「高円寺地域の学校として」は、子どもたちがまちづくりに興味を持って地域との関わりを深めていけるような学校がいいと。また、高円寺地区でイベントをやっていますが、学校が積極的に関わり、地域の方々から学ぶ機会を多くとりたい。また、祭りなどの企画・運営がどのように進められているか、子どもたちにも体験させて、実践させていきたいなということです。

あと、元何小とか、元何中ではなくて、新しい学校の仲間なんだということを思えるような進め方をしていきたい、そういう関係をつくっていきたいという意見も

	<p>出ていました。高円寺の子ども達を高円寺地域で、地域ぐるみで育てていける学校としたいという思いですね。</p> <p>さっきも施設のところでありましたが、「特別な支援」ということで、特別に支援を要する子については9年間でどうやって伸ばしていくか。また、その最終目標の設定などを教員全員で共通認識を持って取り組んでいきたいということです。また、小中が一緒、一貫校ということで、9年間子どもたちがいるわけですがけれども、中学校生活へのあこがれが持てるような活動ができていくといいなと。また、中学へ進学するに当たって、不安をなくしていけるような、そんな活動ができるといいなと考えております。</p> <p>「教育内容」については、先ほどもちょっと出ていましたが、自主自立ということを考えて、なるべく少ないチャイムでやっていくのはどうかと。これは小学校と中学校のカリキュラムの違い、45分授業と50分授業のことを考えてこういう意見が多分出てきたのだと思います。ノーチャイム制をやっている学校も結構ありますので、その辺も考えていきたいなと。</p> <p>最後ですけれども、授業を大切に、児童・生徒の活動を大切に、教員の研究の時間も大切に、ゆとりある時程で臨みたい、教育していきたいと。これは多分、教育内容というよりも、こういうふうな教育を進めていきたいという希望だと思います。</p> <p>以上、雑駁ですけれども、杉八小の先生方が考えた新しい学校像ということで紹介してもらいました。以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>では、最後、高円寺中学校でございます。懇談会の中身については教職員のほうにも説明をしまして、共有させていただいています。今まで進んできた中身の方向性ですね。新しい学校づくりの方向性については、本校の先生方もこの懇談会と同じ意見じゃないかなと考えています。意見を出してねと言って紙まで配ったんですけれども、4つぐらいしか帰ってこなくて、体育館を2つにしてほしいというのと、小中合同で部活動をしよう、制服を導入しませんか、あと工事中、運動できるスペースは絶対確保してねというのが出てきたところでございます。あとは、基本的には異議がない場合はほとんど入ってこないの、この方向性でいいのかなと思いつつ進めていっています。</p> <p>新しい学校のコンセプトなんですけれども、杉並区は教育ビジョン2012があるので、これでもういけちゃうんですね。そこに高円寺らしい学校というところでできちゃうかなと思います。前、品川や三鷹の小中一貫教育校の出始めの頃には随分あちこち見てきましたけれども、カリキュラムをちょうだいねとか言って、どこもくれなかったんですけれども、9年カリキュラムもできていますし、そういう面ではこれから新しい小中一貫校をつくるというのは、学校の教員の中身としては随分楽になったのかなという気がすごくしています。</p> <p>あと細かいところは多々あるにしても、杉並和泉学園も来年度開校しますし、そこからもいろんな私見ももらえますと思いますので、渋谷ももちろん含めて、そういうところからいろんなところを取り込んでいって、この高円寺の学校をつくっていただければいいのかなと先生方と考えています。</p> <p>私、個人的になんですけれども、小学校の先生との授業づくりは無茶苦茶おもしろいですね。今までも区内の学校はどこも小中で一緒にやっているんですけれども、</p>

	<p>ここの杉四と杉八の先生はすごいなというのが率直なところでございます。この間、杉四が会場で授業研究会を企画して、一緒に道徳の授業づくりに参加させていただいたんですけれども、おもしろい、おもしろい。小学校の先生の発想が中学校にと、やっぱり違うんですね。言語活動をどうやってメインにしていこうかというところが、話をしていく中で、こうやって子どもたちに学ばせようという考え方、これは絶対いいかなと思うんです。</p> <p>この間も杉並の教育研修会にも行って、協働的な学びの話だったのですけれども、間違いなく方向性としてはそっちのほうで、次々、先々を見ていくと、生きる力を育てるためにもうそういう方向に行くんじゃないかなと私は個人的にはずっと思っていて、先生が教えるじゃなくて、子どもたちが学ばせるというところがきっと1つのみそになってくるかなと思うのと、そういう中では小学校の先生方と一緒に勉強会というのは大変参考になります。</p> <p>あわせてこの中で、今、授業づくりもおもしろいんですけれども、学校づくりのほうの話も一緒にできていくともっとおもしろいかなという思いもありますので、また懇談会で頂戴した意見をそれぞれ3校に持ち帰りながら進めていければいいかなと思います。</p> <p>ここにも書いてあるんですけれども、子どもも生徒も先生も保護者もまちの人も一緒に学んでいける高円寺の学校ができたらいいなというところを目指していきたいので、今はこんなに広がってしまっているんですけれども、それを少しずつ収束させていきながら、学校づくりを進めていただければいいなと思っていまして、今日も杉四と杉八の先生のお考えを伺ってすごくおもしろかったんですけれども、これからともに学んでいきたいなと思っています。</p> <p>各学校の先生方との話のご説明を申し上げさせていただきましたが、何かご質問やらご意見がございましたらお願いします。</p>
委員	3校の校長先生にお聞きしたいんですが、新しい学校づくりについて、施設面の考え方も含めてですけれども、この内容でいけば、ここにでき上がる学校だけで完結できるという認識でしょうか。
会長	このスペースでですか。個人的には難しいと思います。ほかの先生、いかがでしょうか。
副会長	今まで出てきたものを全部盛り込むとなると、厳しいんじゃないかなと思います。
委員	今ご説明いただいた学校の先生方のお考えだけで結構です。
副会長	杉八小に関しては、個人的に思っていることを全部出していいよと言ったので、すべてがすべてというわけにはいかないと思うんです。
委員	杉四小の教員は、どちらかというところすぐ近くにここがあるので、何らかの形で使えるといいよねという話は出ています。それから、私個人としては、やはり先ほども話の中で余裕という話をしたんですけれども、余裕分のスペースというふうに考えていくと、新しい学校に余裕をいっぱいつくっていくという考えと、なおかつそれプラス補完するための余裕という意味で、杉四小の今ある校舎及び校庭を使えるというのは1つ手なのかなと思います。
委員	あとは、私ども地教推という立場からいきますと、0歳から15歳、この子どもたちを見ていくという形での設定なんですね。そうすると、当然、就学前というところで、幼児教育以下の本当に子育て世代もひっくるめて、こういった学校を核とし

	<p>て活動していく、支えていくという観点で考えています。そうすると、先生方が、今9年間というところですけども、もうちょっと幅広いところで考えればやはりそれなりの、ハードだけじゃなくて、ソフト面もひっくるめた学校づくりが必要ではないかなと考えています。</p> <p>あと、今日は高円寺北子供園長もお見えになっていますけれども、幼児教育というのがもうちょっと入ってもらいたいなと。幼小連携のときには11年間の教育という部分でいきたいと出ていたかと思うんですが、ちょっと見ている限りでは9年間しかないの。</p>
委員	<p>子供園の園長としては、やはり同じところで保育をしているというのはやはり大きな意義があると思います。</p>
委員	<p>もちろん小・中連携でやっている学校なので、そこは視野に入れなきゃいけないと思うんですけども、やっぱり就学前の子どもの教育とか、ここの過ごし方とかについては、ここだけを核として考えるのではなく、高円寺のまち全体の中でどういうふうに子どもたちを育てていくということで私は考えてもらいたいなと。ここだけに全てを集約するのではなく、地域として南もありますし、北も色々あるので、そういう目線で見てほしいなと思いました。</p>
会長	<p>他にはいかがでしょうか。子供園の問題は前からご指摘いただいているので、あわせて検討していく必要がございますが、高円寺のまちとしてどういう子どもを育てていくかという視点は非常に重要なところかと思えます。</p>
委員	<p>そこについてはこの席で討議することではないと思うんですけども、やはり保育園に行っている子もいれば、幼稚園に行っている子もいる。いろんな子ども達がいるので、そういうこともちょっと頭には入れていて欲しいなと思いました。</p>
会長	<p>それでは、これからも3校の先生方とともに懇談会での話も共有しながら進めてまいりたいと思います。</p> <p>ちなみに、9月なんですけど、17日の午後、高円寺中学校で2回目の授業研究会が計画されておりますので、また計画ができましたらお知らせするような形にしたいと思えます。授業は数学と英語で、細かいところが決まりましたらまたご案内申し上げますので、よかったです見に来ていただければありがたいと思えます。</p> <p>それでは、一応次第のところまでは終わりましたが、その他のところで事務局のほうからその他についてご説明いただけますでしょうか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>委員の皆様には、本日の懇談会資料とあわせまして、こちらの渋谷本町学園の視察時の記録メモと、個別質疑応答用紙を同封させていただきました。施設見学の後、会議室において皆さん集まった中で、先方のご担当者からご説明を伺ったような形なんですけれども、内容をこちらの記録メモに反映させていただきますので、ご確認いただければと思います。</p> <p>あと、本日、各委員の皆様からの感想の中にも渋谷の施設見学時にご担当者から聞いた内容について様々なご発言もあったかと思うんですけども、こちらの個別質疑応答用紙に、この記録メモにないことで、施設見学時に先方のご担当者からこんなお話を聞いたよということがあれば、委員の皆さん全体でその内容を共有できればと思いますので、こちらの用紙に書いて事務局にお出しいただきたいということと、あと、下のほうに追加質問事項という欄があるんですけども、視察を終えて、こういうところが気になったから聞いてみたいなということがあれば、そちら</p>

	<p>もあわせて書いて出していただければと思います。改めてまた渋谷区の教育委員会のほうにご教示をお願いしたいと思っております。</p> <p>最後に、次回の懇談会のスケジュールになるんですけども、視察も含めまして6月、7月と間隔なく開催させていただいたところもございましたので、少し期間を起きまして、9月上旬ぐらいに次回の懇談会を開催できればと考えておりますので、この後、会長に日程調整をお願いできればと思います。よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>それでは、今、事務局からございましたが、本町学園のほうでみんなで共有しておきたいような情報がございましたらということと、あと追加で伺いたいことがあれば書いていただいて、事務局をお願いできればと思います。</p> <p>何かここまでのところでご質問はございますでしょうか。</p> <p>(なし)</p> <p>では、最後になりますが、今ありましたように、次回、6回目になりますが、9月の頭で行いたいと思いますので、スケジュールのほうをちょっと教えていただければと思います。</p> <p>(日程調整)</p> <p>では、今日ご欠席の委員さんには事務局から聞いていただきながら調整をお願いします。</p>
新しい学校づくり係長	<p>では、欠席の委員さんのほうに連絡をとらせていただきまして、皆様の都合も把握した上で調整させていただきますので、よろしくお願いいいたします。</p>
会長	<p>よろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは、本日予定されていた中身がおおむね終了いたしました。委員の皆様から何か最後にございましたら、お伺いできればと思うんですけども。</p>
委員	<p>杉四小校長からの発表の中で、タイムテーブルは区と協議をしながらカリキュラムの設定をしていこうという考え方、それから、次の3校共通した時間設定がとれる特別体制をつくりたいと、至極ごもつともなことだと思っております。これは、学校がどのような新しい形で進もうとしていくか、それを支える教育委員会、区のサイドの応援を得られればという要素だと思っておりますよ。</p> <p>ですから、それは特別支援のことを含めて何人もおっしゃられました。ここはそういう具体的なものを支えていく区のサイドとの協議の部分だと思っております。ですから、ここは一段進めていただければと思います。地域の人間としての立場の枠を外れているかもしれませんけれども、今後ともいろんな議題を取り上げていくとき、先生方がどんどん進められていけるように、そして、我々地域の者は地域の者として応援できる部分を応援していけるように、その意味合いで、よろしくお願いいいたしたいと思います。</p>
会長	<p>よろしく申し上げます。</p> <p>ほかにはいかがですか。</p> <p>それでは、ちょっと長くなってしまって申しわけございません。以上で第5回目の懇談会を終了したいと思います。</p> <p>本当にありがとうございました。お疲れさまでした。</p>